

令和6年度広島県立総合技術研究所
利用者アンケート調査（令和5年度利用分）について

1 調査概要

(1) 目的

総合技術研究所（以下「総研」という。）をご利用いただいた方の満足度や経営への貢献額をお伺いし、総研の自己評価に役立てるとともに、ご要望やご意見をもとに、今後の支援サービスの内容充実や質的向上を図る。

(2) 調査対象

令和5年度に総研において、設備利用（センターの保有機器・設備）、依頼試験、技術的課題解決支援事業（ギカジ）、共同研究、受託研究、人材育成の各支援メニューを利用された方（事業者、個人等）。

(3) 調査方法

対象者（703者）へ調査用紙を郵送し、広島県ホームページ又はFAXによる回答により収集した。

調査期間：令和6年5月15日～7月15日

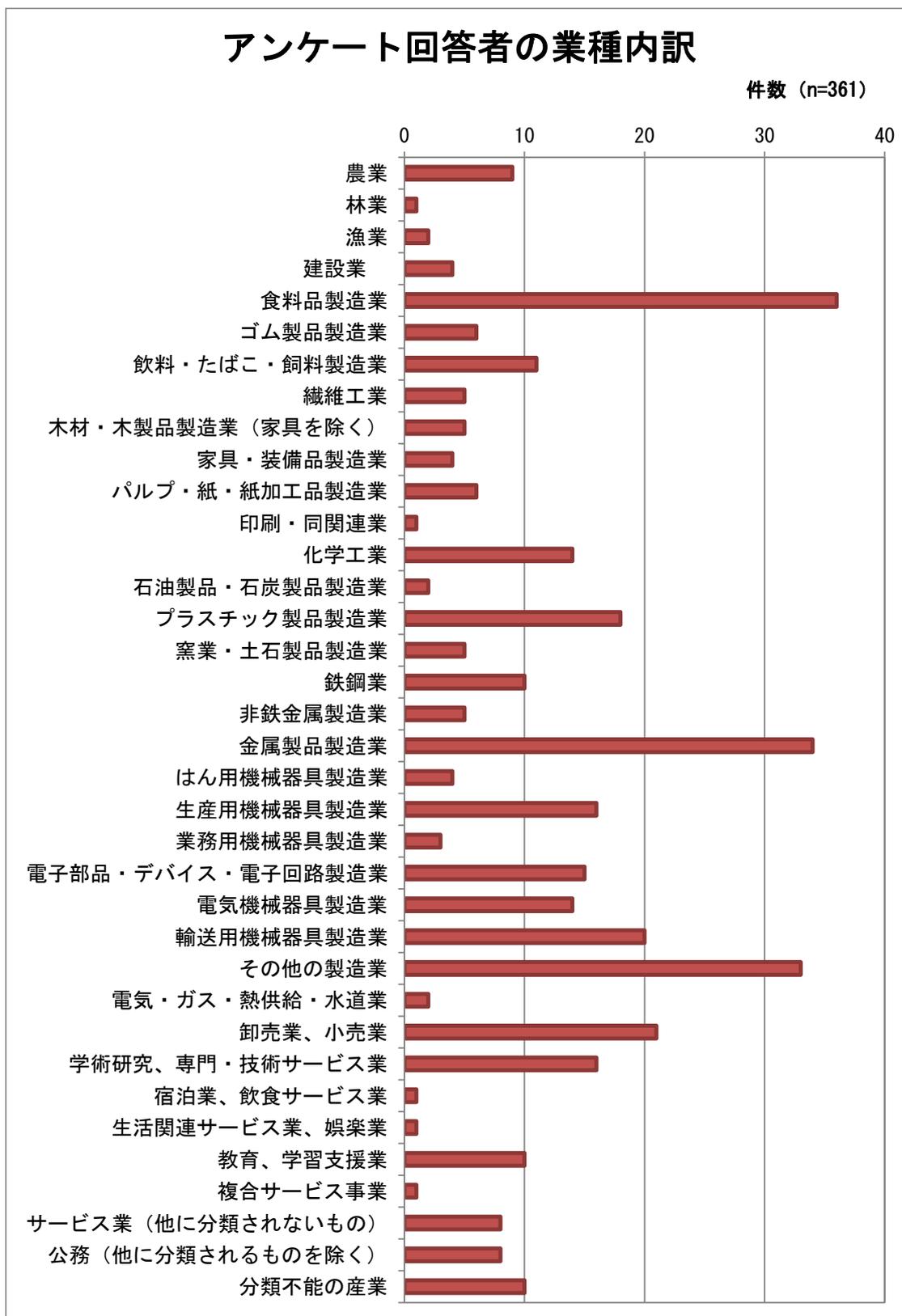
(4) 回答状況

回答者数：361者（回答率51.4%）

2 調査結果概要

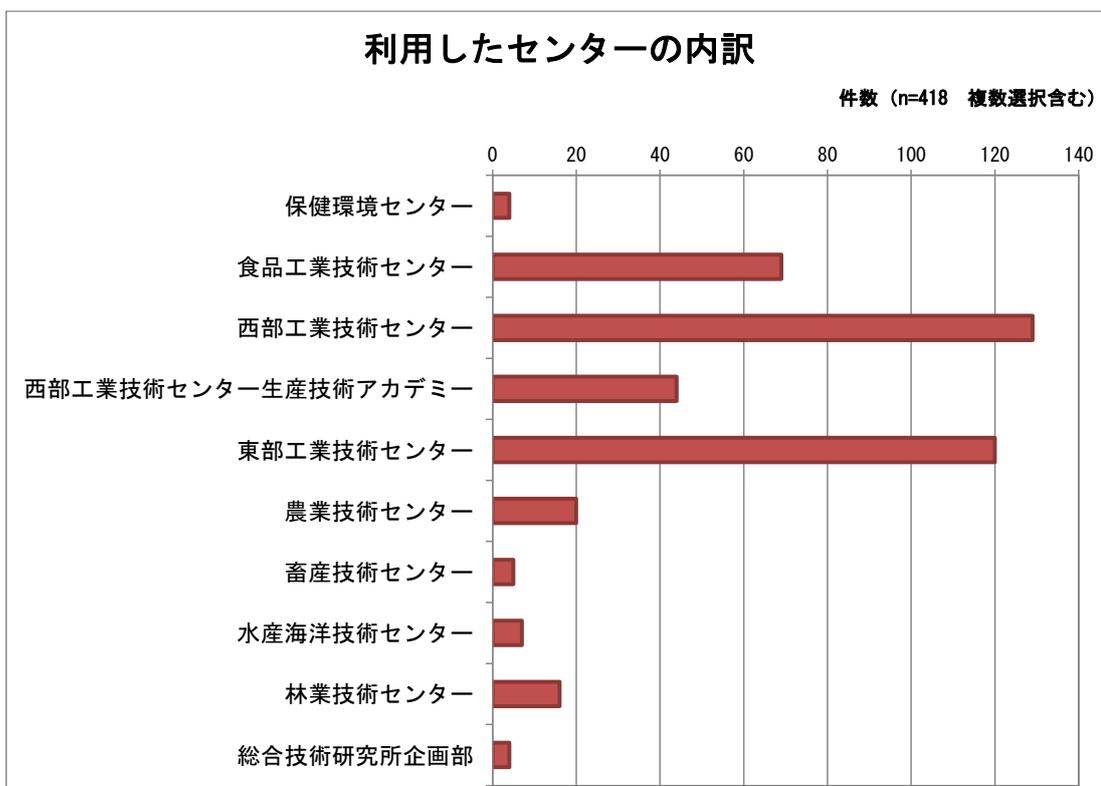
(1) 業種内訳

製造業、学術研究、卸売業・小売業、専門・技術サービス業等の回答者が多い。過去の結果から大きな変化はない。



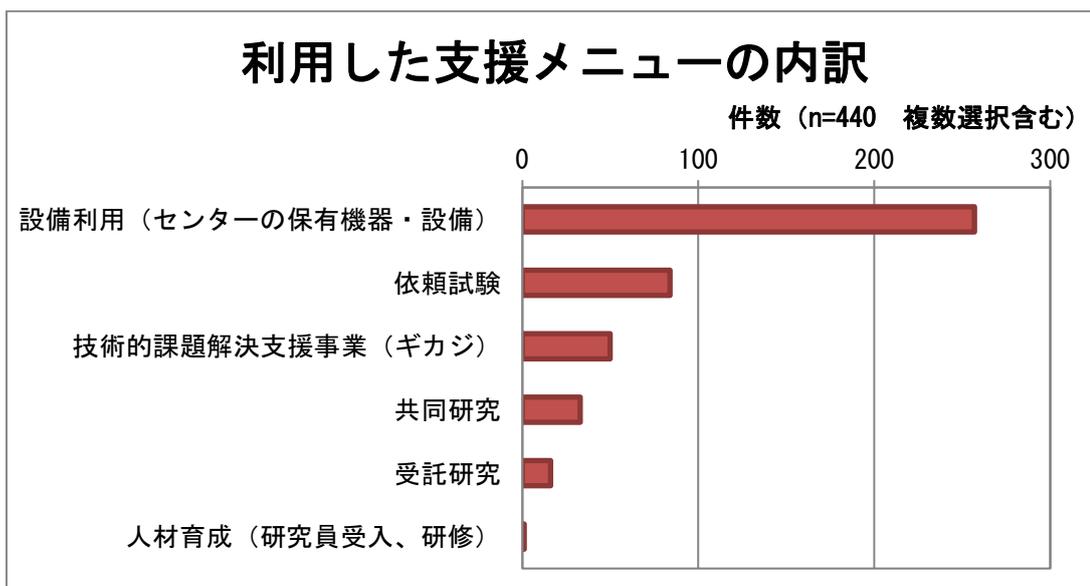
(2) 利用したセンター

全体回答数の87%が工業系センター（食品工業技術センター、西部工業技術センター、東部工業技術センター）となっている。



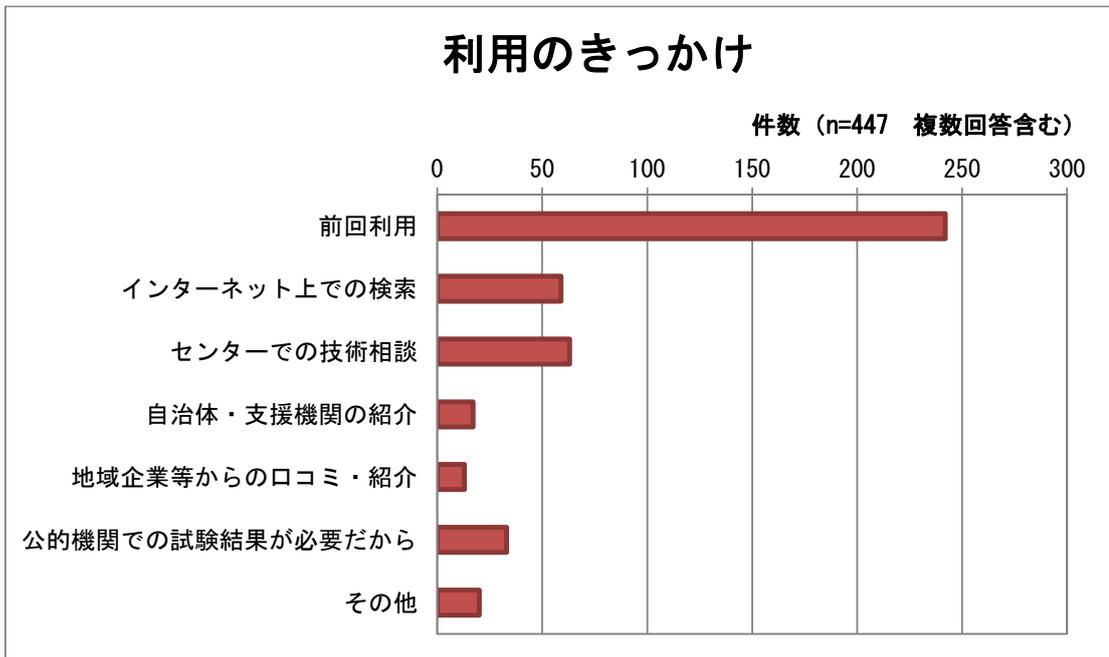
(3) 利用した支援メニュー

設備利用、依頼試験の回答が多い。



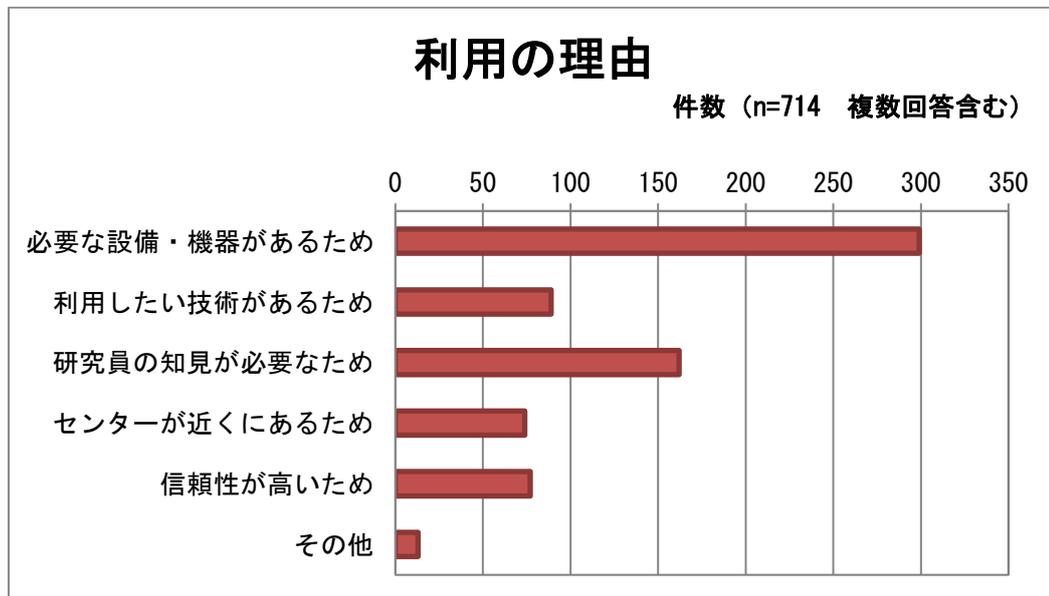
(4) 利用のきっかけ

前回利用したことによるリピートのほか、センターでの技術相談、インターネット上での検索がきっかけとなっている。



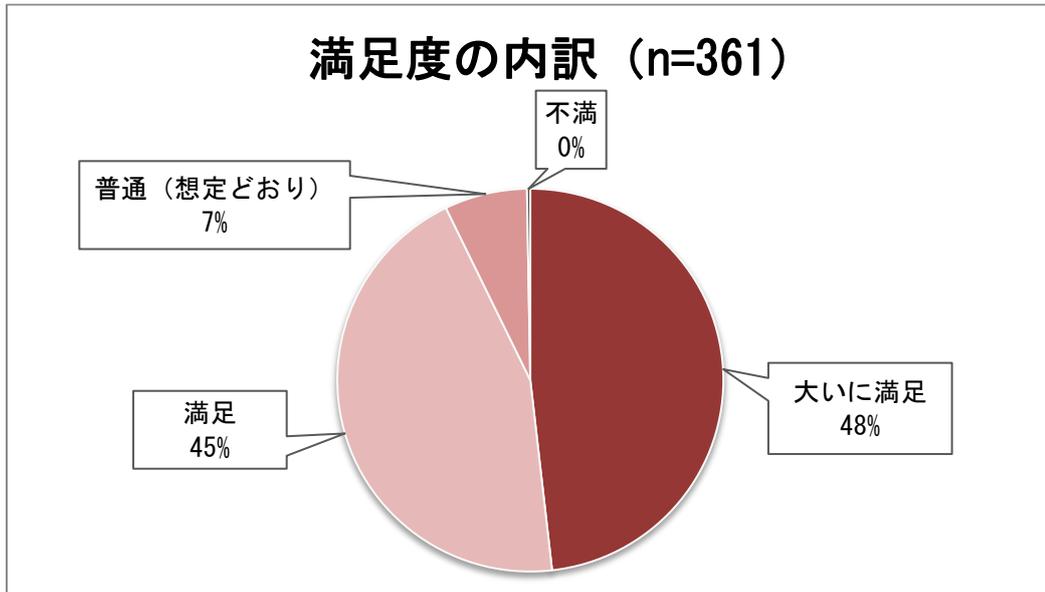
(5) 利用の理由

設備、研究員の知見があることが、主な利用の理由となっている。



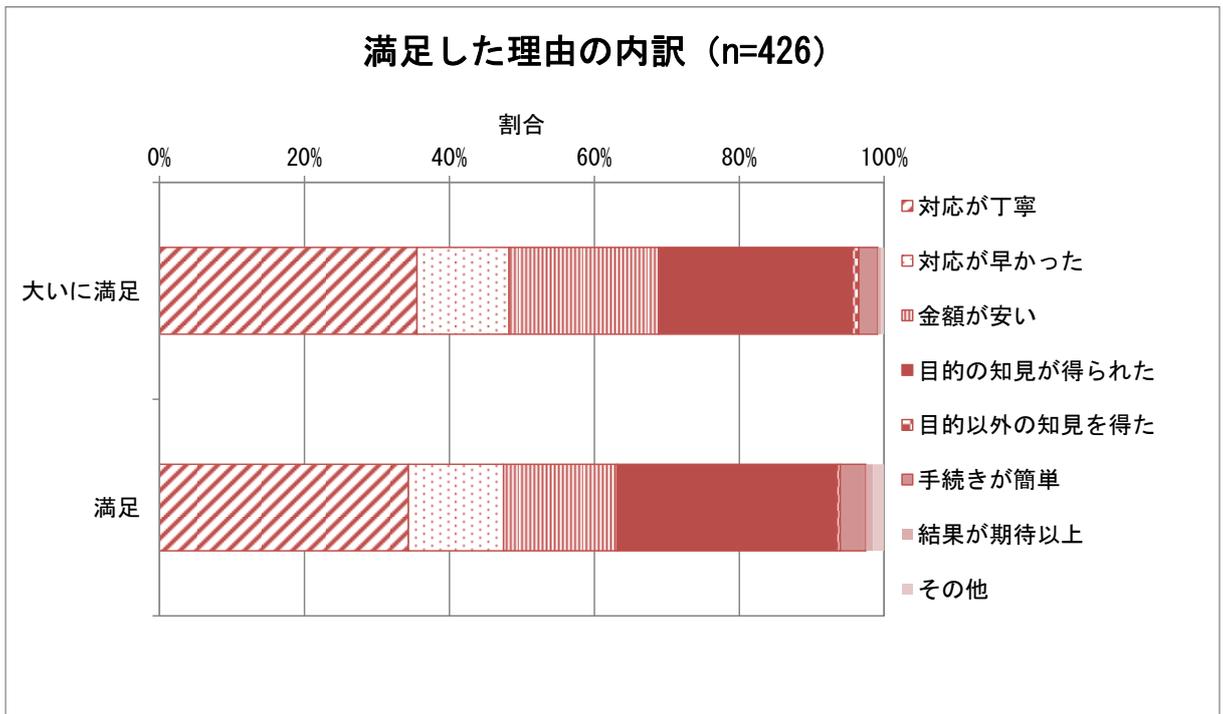
(6) 満足度

全体回答数の約93%が「大いに満足」又は「満足」と回答している。



(7) 満足した理由

「対応が丁寧」、「目的の知見が得られた」という割合が多くなっている。

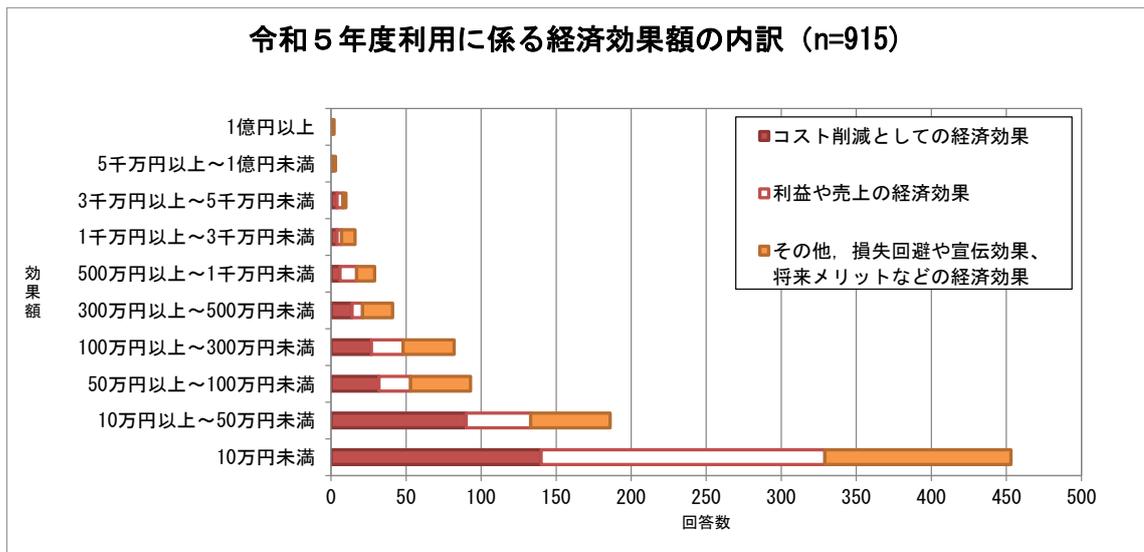


(8) 支援効果額

1者当たりの支援効果額は、約7,568千円/者となっている。

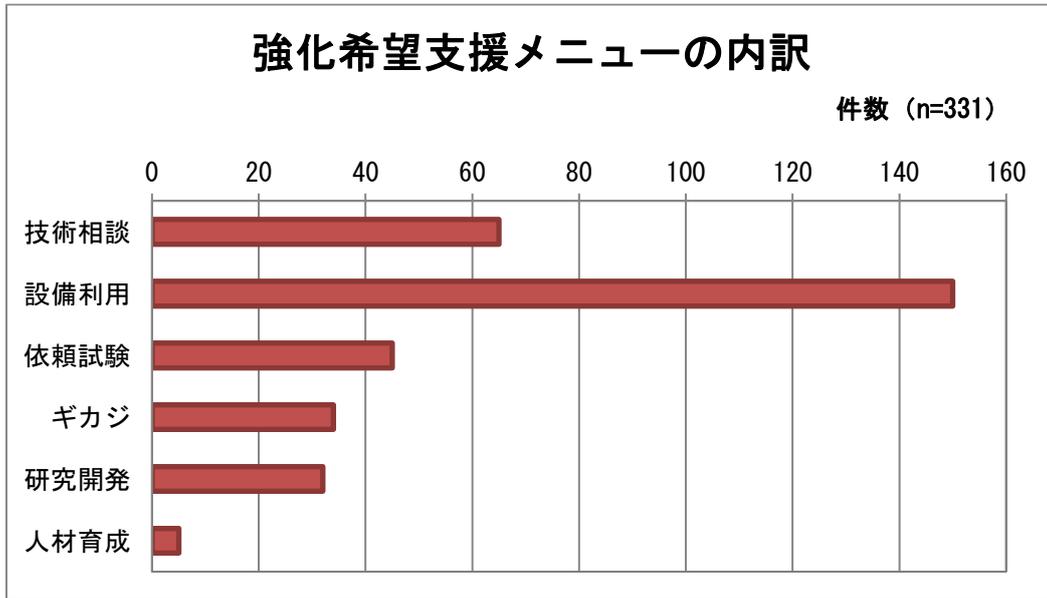
※経済効果の金額「1億円以上」の、「1回答当たりの効果金額（中間値）（千円）」には、記載いただいた金額の平均を記入。

経済効果の金額	コスト削減としての経済効果	利益や売上の経済効果	その他、損失回避や宣伝効果、将来メリットなどの経済効果	回答数	1回答当たりの効果金額（中間値）（千円）	経済効果換算額（千円）
10万円未満	140	189	124	453	50	22,650
10万円以上～50万円未満	90	43	53	186	250	46,500
50万円以上～100万円未満	32	21	40	93	750	69,750
100万円以上～300万円未満	27	21	34	82	2,000	164,000
300万円以上～500万円未満	14	7	20	41	4,000	164,000
500万円以上～1千万円未満	6	11	12	29	7,500	217,500
1千万円以上～3千万円未満	4	3	9	16	20,000	320,000
3千万円以上～5千万円未満	4	4	2	10	40,000	400,000
5千万円以上～1億円未満	1	0	2	3	75,000	225,000
1億円以上	0	0	2	2	400,000	800,000
回答数 小計	318	299	298	915		
経済効果換算額(千円)	523,500	408,450	1,497,450		経済効果換算額(千円)	2,429,400
					1者当たりの経済効果額(千円)	7,568



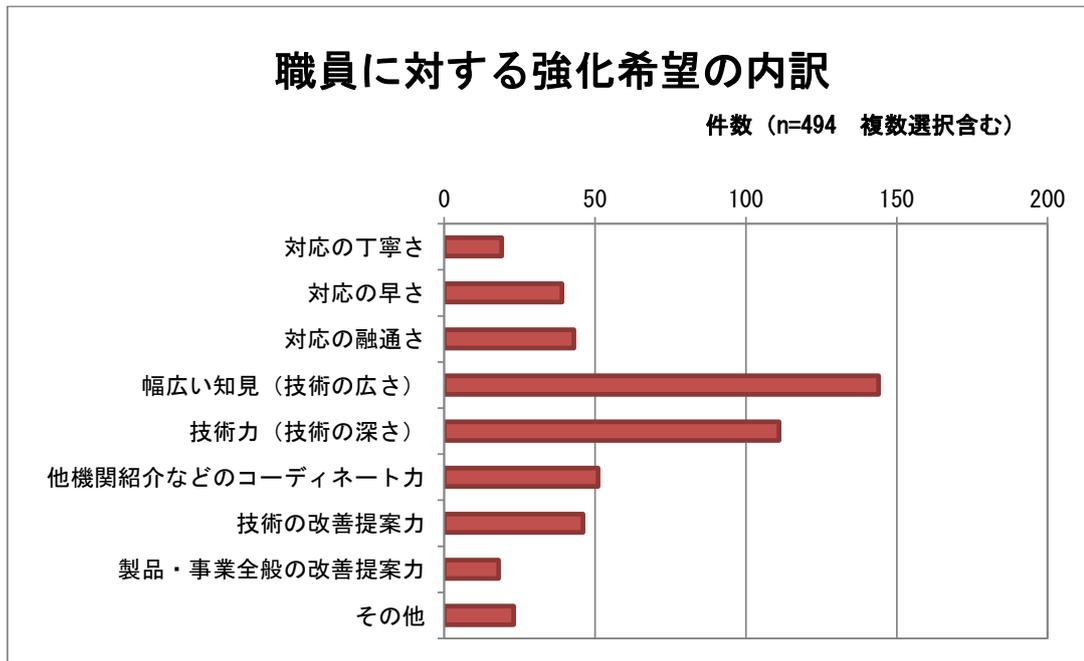
(9) 総研への強化希望

総研への強化希望として、「設備利用」や「技術相談」が求められている。



(10) 職員への強化希望

総研の職員に対しては「幅広い知見（技術の広さ）」や「技術力（技術の深さ）」が求められている。



(11) デジタル技術への取組

アンケート回答者のデジタル分野への取組状況は、約76%が「既に取り組んでいる」又は「今後取り組む予定」と回答した一方、約24%が「現状取り組む予定はない」と回答した。

表 デジタル技術への取組状況

	回答数	割合
既に取り組んでいる	153	45%
必要性を感じており、今後取り組む予定	103	31%
必要性を感じているが、現状取り組む予定はない	65	19%
必要性を感じておらず、現状取り組む予定はない	16	5%

総研のデジタル技術への取組に関して、約13%が「知っている」と回答した。また、「知っている」と回答した者のうち、「活用したことがある」又は「活用したことはないが、今後したいと思う」と回答した者は、約57%であった。

表 総研のデジタル技術取組の知名度

	回答数	割合
知っている	45	13%
知らない	298	87%

表 総研のデジタル技術活用状況

	回答数	割合
活用したことがある	6	9%
活用したことはないが、今後したいと思う	32	48%
活用する予定はない	28	42%

(12) カーボンニュートラルへの取組

世界的な課題として求められているカーボンニュートラルへの取組について、各事業者の状況を聞いた。約69%が「既に取り組んでいる」又は「必要性を感じており、今後取り組む予定」と回答した。一方で、約31%が「現状取り組む予定はない」と回答した。

表 カーボンニュートラルの取組状況

	回答者	割合
既に取り組んでいる	148	45%
必要性を感じており、今後取り組む予定	80	24%
必要性を感じているが、現状取り組む予定はない	80	24%
必要性を感じておらず、現状取り組む予定はない	22	7%

(13) その他意見

※対応してほしい点、改善してほしい点、よかった点など

ア 感謝等に関するもの（抜粋）

- いつも技術相談に乗っていただき非常に助かっております。
- 引き続きお世話になりたいと思いますのでよろしくお願いします。
- 今後も必要時は最優先でお願いしますので協力ほど、よろしくお願い致します。
- 技術相談から研究の支援まで、多岐に渡りご対応いただき有難く思います。新しいテーマに取り組む際に、色々ご相談・ご支援をいただけるセンターであればと思います。

イ 改善などの要望（抜粋）

【保有設備関係】

- 保有設備の一覧表、設備の説明、やりたいことと設備の紐づけについて。
 - 保有設備に関して、経済産業省ホームページから検索が可能です。また、食品工業技術センター、西部工業技術センター及び東部工業技術センターの保有設備は、「広島県広島市工業技術センター共有ポータルサイト」及び「産総研中国センターホームページ」にて検索が可能ですのでご活用ください。
 - 設備の説明については、各センターのホームページに主要設備の説明を掲載しておりますので、御覧ください。また、どのような設備があるか、どのような設備を使えばよいかなど、お電話や各センターホームページのお問い合わせフォームからお気軽に御相談ください。

経済産業省 (<https://www.meti.go.jp/kousetsushi/top>)

共通ポータルサイト (<https://www.itc.city.hiroshima.jp/renkei/>)

産総研中国センター (<https://unit.aist.go.jp/chugoku/kaihou-kiki/index.html>)

○試験機設備の更新

- 各センターでは利用者の方のニーズをもとに、利用頻度、利用価値の高い機器について計画的に整備していくこととしています。整備計画の参考にいたしますので、ご利用の際に研究員等にお伝えください。

【支払関係】

- 支払方法の拡充をしてもらいたい（請求書払いなど）。
- 現金支払いの仕組みは振込等にして貰えないでしょうか。
- 利用料金の支払をクレジットカード、電子マネーで対応できるようにしていただきたい。
 - 令和5年4月1日より、「依頼試験」、「設備利用」に関して、「Pay-easy（ペイジー）」「クレジットカード」「QRコード決済等」を利用した電子納付が可能となっています。電子納付には広島県電子申請システムを利用して申請手続、納付手続をしていただく必要があります。詳しくは広島県ホームページをご覧ください (<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshima-soken/dennshi-noufu.html>)。また、納入通知書でのお支払いも可能となっておりますので、御活用ください。

【試験結果】

○依頼試験から可否の判断までの出力を、もう少し短くして頂けるとありがたいです。

→ 現在依頼試験の試験結果発行には2週間程度のお時間をいただいておりますが、試験の内容によっては、さらにお時間をいただく場合がございます。試験にあたっては利用いただくご担当者様とコミュニケーションを取り、可能な限り早く結果を出せるよう進めて参ります。

○データの持ち出しが、現状 DVD-R のみなので セキュリティ等の課題をクリアした上で USB 等のメディア対応して頂けたら幸いです。

→ セキュリティの関係上、DVD 以外のメディアの使用は不可となっております。ご不便をおかけして申し訳ありませんが、ご了承ください。なおファイル転送システムでのデータのお渡しも可能ですので、御相談ください。

【広報関係】

○もっと情報発信をして欲しい。

○設備の利用以外に何ができるのか分からないので、知れる機会があれば良いと思います。

→ 各センターの成果・研究発表会等を通じ情報発信をしております。また、各センターのホームページにて保有機器や技術、成果等を発信しておりますので、合わせて御活用ください。

各センターが対応できる内容については、お電話や各センターホームページのお問い合わせフォームからお気軽に御相談ください。

R6年度広島県立総合技術研究所 ご利用アンケート調査（R5年度利用分）

令和5年度の総研ご利用分について回答してください。
県のHP上で、便利に回答することができます（右リンク先）
利用者が複数名おられる場合は、利用者ごとにご回答ください。
（FAXの場合、お手数ですが、コピーしてお使いください）



Q1 貴社名（貴名）を記入してください（必須）

例）〇〇株式会社〇〇事業所

Q2 業種を選択してください。（必須、1つ選択）

※日本標準産業分類の区分を表記しています。

- 農業 林業 漁業 鉱業、採石業、砂利採取業 建設業 食品品製造業
- 飲料・たばこ・飼料製造業 繊維工業 木材・木製品製造業（家具を除く）
- 家具・装備品製造業 パルプ・紙・紙加工品製造業 印刷・同関連業 化学工業
- 石油製品・石炭製品製造業 プラスチック製品製造業 ゴム製品製造業
- なめし革・同製品・毛皮製造業 窯業・土石製品製造業 鉄鋼業 非鉄金属製造業
- 金属製品製造業 はん用機械器具製造業 生産用機械器具製造業 業務用機械器具製造業
- 電子部品・デバイス・電子回路製造業 電気機械器具製造業 情報通信機械器具製造業
- 輸送用機械器具製造業 その他の製造業 電気・ガス・熱供給・水道業
- 情報通信業 運輸業、郵便業 卸売業、小売業 金融業、保険業
- 不動産業、物品賃貸業 学術研究、専門・技術サービス業 宿泊業、飲食サービス業
- 生活関連サービス業、娯楽業 教育、学習支援業 医療、福祉 複合サービス事業
- サービス業（他に分類されないもの） 公務（他に分類されるものを除く） 分類不能の産業

Q3 昨年度ご利用のセンターを選択してください。（必須、複数選択可）

- 保健環境センター 食品工業技術センター 西部工業技術センター（生産技術アカデミー含まず）
- 西部工業技術センター生産技術アカデミー 東部工業技術センター 農業技術センター
- 畜産技術センター 水産海洋技術センター 林業技術センター 総合技術研究所企画部

Q4 昨年度ご利用の支援メニューを選択してください。（必須、複数選択可）

- 設備利用（センターの保有機器・設備） 依頼試験 技術的課題解決支援事業（ギカジ）
- 共同研究 受託研究 人材育成（研究員受入、研修）

Q5 ご利用のきっかけを選択してください。(複数選択可)

- 前回利用 インターネット上での検索 センターでの技術相談
 自治体・支援機関の紹介 地域企業等からの口コミ・紹介 公的機関での試験結果が必要だから
 その他

Q6 ご利用の理由を選択してください。(複数選択可)

- 必要な設備・機器があるため 利用したい技術があるため 研究員の知見が必要なため
 センターが近くにあるため 信頼性が高いため その他

Q7 センターの支援メニューをご利用の結果、満足度はいかがですか。(必須、1つ選択)

- 大いに満足 満足 普通(想定どおり)
 不満 大いに不満

Q8 Q7で満足(不満足)とした理由を選択してください。(最大2つ選択)

- 対応が丁寧(不十分) 対応が早かった(遅かった) 金額が安い(高い)
 目的の知見が得られた(得られなかった) 目的以外の知見を得た(得られなかった)
 手続きが簡単(煩雑) 結果が期待以上(期待未満) その他

Q9 支援メニューを申請してからレポートや測定が終わるまでに要した時間を選択してください。

- 1~3時間 1日 2~3日
 1週間程度 2~3週間 数か月程度
 半年 1年 1年以上

Q10 昨年度、総研を利用したことによる貴社(貴方)の経済効果についてお答えください。

コスト削減としての貢献額をお教えてください。(1つ選択)

- 例1) 装置使用や依頼試験により、自社で試験を実施する場合に比べて、設備投資費や人件費を〇〇万円削減することができた。
例2) 民間の専門分析機関や研究機関へ対応相談や試験依頼をした場合と比べ、〇〇万円の経費削減につながった。
例3) 技術的な知見を習得することができ、自社の人材育成に関する経費を〇〇万円圧縮できた。

- 10万円未満 10万円以上~50万円未満 50万円以上~100万円未満
 100万円以上~300万円未満 300万円以上~500万円未満 500万円以上~1千万円未満
 1千万円以上~3千万円未満 3千万円以上~5千万円未満 5千万円以上~1億円未満
 1億円以上(Q11にもご回答ください)

Q11 Q10で「1億円以上」を選択した場合、およその金額を入力してください。(数値入力:単位 億円)

億円

Q12 利益や売上の増加について、貢献額をお教えてください。(1つ選択)

例1) 品質の維持・向上のための課題解決により、売上が〇〇万円向上した。

例2) 依頼試験や、委託研究により製品開発に貢献し、〇〇万円の売上高に貢献した。

10万円未満 10万円以上～50万円未満 50万円以上～100万円未満

100万円以上～300万円未満 300万円以上～500万円未満 500万円以上～1千万円未満

1千万円以上～3千万円未満 3千万円以上～5千万円未満 5千万円以上～1億円未満

1億円以上 (Q13にもご回答ください)

Q13 Q12で「1億円以上」を選択した場合、およその金額を入力してください。(数値入力：単位 億円)

億円

Q14 その他、損失回避や宣伝効果、将来メリットなどの貢献額をお教えてください。(1つ選択)

例1) 不具合などの原因究明に対応でき、将来的な損失を〇〇万円回避できた。

例2) 製品の評価や品質管理の結果、試験結果を宣伝できたため、〇〇万円の貢献があった。

例3) 研究開発・製品化・事業実施の判断に役立てることができ、研究開発費として〇〇万円の価値がある。

10万円未満 10万円以上～50万円未満 50万円以上～100万円未満

100万円以上～300万円未満 300万円以上～500万円未満 500万円以上～1千万円未満

1千万円以上～3千万円未満 3千万円以上～5千万円未満 5千万円以上～1億円未満

1億円以上 (Q15にもご回答ください)

Q15 Q14で「1億円以上」を選択した場合、およその金額を入力してください。(数値入力：単位 億円)

億円

Q16 総研に対して、特に強化してほしい支援メニューを選択してください。(1つ選択)

技術相談 設備利用(センターの保有機器・設備) 依頼試験 技術的課題解決支援事業(ギカジ)

研究開発(共同研究、受託研究) 人材育成(研究員受入、研修)

Q17 Q16の内容について、具体的な要望があれば記入してください。(自由記入)

Q18 総研の職員に対して、特に強化してほしい部分を選択してください。(最大2つ選択)

対応の丁寧さ 対応の早さ 対応の融通さ

幅広い知見(技術の広さ) 技術力(技術の深さ) 他機関紹介などのコーディネート力

技術の改善提案力 製品・事業全般の改善提案力 その他

Q19 今後のセンターご利用に当たり、強化してほしい技術分野があれば記入してください。(自由記入)

※〇〇の分析技術、〇〇分野におけるデジタル技術、新品種の開発、カーボンニュートラル技術 など

Q20～Q23はデジタル技術への取り組みについてお答えください。

Q20 貴社(貴名)の事業における、デジタル技術への取り組み状況について選択してください。(1つ選択)

既に取り組んでいる 必要性を感じており、今後取り組む予定

必要性を感じているが、現状取り組む予定はない 必要性を感じておらず、現状取り組む予定はない

Q21 総研がデジタル技術の活用に資する研究開発・支援を行っていることをご存じですか。

(参考:「広島総研 DX 取組事例発表会」、URL: <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshima-soken/dx-r5-recital.html>)

知っている(Q22にご回答ください) 知らない

Q22 Q21で「知っている」と答えられた方にお聞きします。これらを活用したことがありますか。

活用したことがある 活用したことはないが、今後したいと思う 活用する予定はない

Q23 デジタル技術の活用に関して、課題や今後総研で取組んでほしい分野があれば記入してください。(自由記入)

※〇〇分野のデジタル技術の研究、〇〇のデジタル化、デジタル技術に関する研修 など

Q24、Q25は貴社(貴名)のカーボンニュートラルへの取り組みについてお答えください。

Q24 貴社(貴名)の事業における、カーボンニュートラルへの取り組み状況について選択してください。(1つ選択)

既に取り組んでいる 必要性を感じており、今後取り組む予定

必要性を感じているが、現状取り組む予定はない 必要性を感じておらず、現状取り組む予定はない

Q25 カーボンニュートラルに関して、課題があれば記入してください。(自由記入)

※〇〇といった技術的課題がある、どのように取り組めばよいかわからず困っている など

Q26 センターへ、その他ご意見があれば記入してください。(自由記入)

※対応してほしい点、改善してほしい点、よかった点など

Q27 回答者のご所属、お名前を記入してください。(必須)

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。集計結果は夏ごろホームページにて公開する予定です。